

(1) 三次駅前都市景観形成地区(別図1-A赤枠線内)

① 地区特性

山陽・山陰を結ぶJR鉄道の三次駅、バスセンター、国道183号などの広域的な交通網の玄関口となっており、来訪者を含め多くの人の動きがあります。国道183号の沿道は大規模ショッピングセンターが2店舗、小売・飲食などの商業施設が集積しています。都市計画道路三次駅前線、都市計画道路日之出町巴橋線の沿道は、小売・飲食などの商業施設があります。北溝川は、水辺と緑による憩いの場となっています。また、三次駅前線沿いの出会いの広場(都市公園)にはシンボルツリーがあり、ランドマークとなっています。幹線道路背後においては、住宅地が広がっています。また、中国地方における中核都市の玄関口として、居住機能・商業機能・産業機能の活性化が期待されています。



図1-1 現況

② 景観特性

- バスセンター付近は、出会いの広場、北溝川、幹線道路により空間が開け、また駅舎、巴橋を見通すことができ、景観上のポイントとなっています。
- 北溝川は親水性を高める整備が行われており、景観に潤いを与えています。
- 国道沿いは街路樹が植樹されていますが、歩道の修景の効果が弱くなっています。
- 屋外広告物や日よけテント、外壁等に使用されている色相がバラバラで、高彩度のものが多く、煩雑な景観となっています。
- 幹線道路背後の住宅地においては、商業店舗の混在がみられます。

③ 景観形成目標

玄関口としての賑わいやもてなしを演出するため、交通拠点機能の充実と合わせて、快適な潤いのある景観を形成し、都市の魅力の向上を図ります。

したがって、景観形成にあたっては、次のことを柱として、重点的な景観形成に取り組めます。

- ① 来訪者との交流や商店の賑わいを創出する街並みの形成
- ② 落ち着いた景観を維持・創出し、回遊する街並みの形成
- ③ 水辺を活かした街並みの形成
- ④ 潤いと緑の統一感のある連続する街並みの形成
- ⑤ 三次駅からの道路を通した山並み眺望の確保

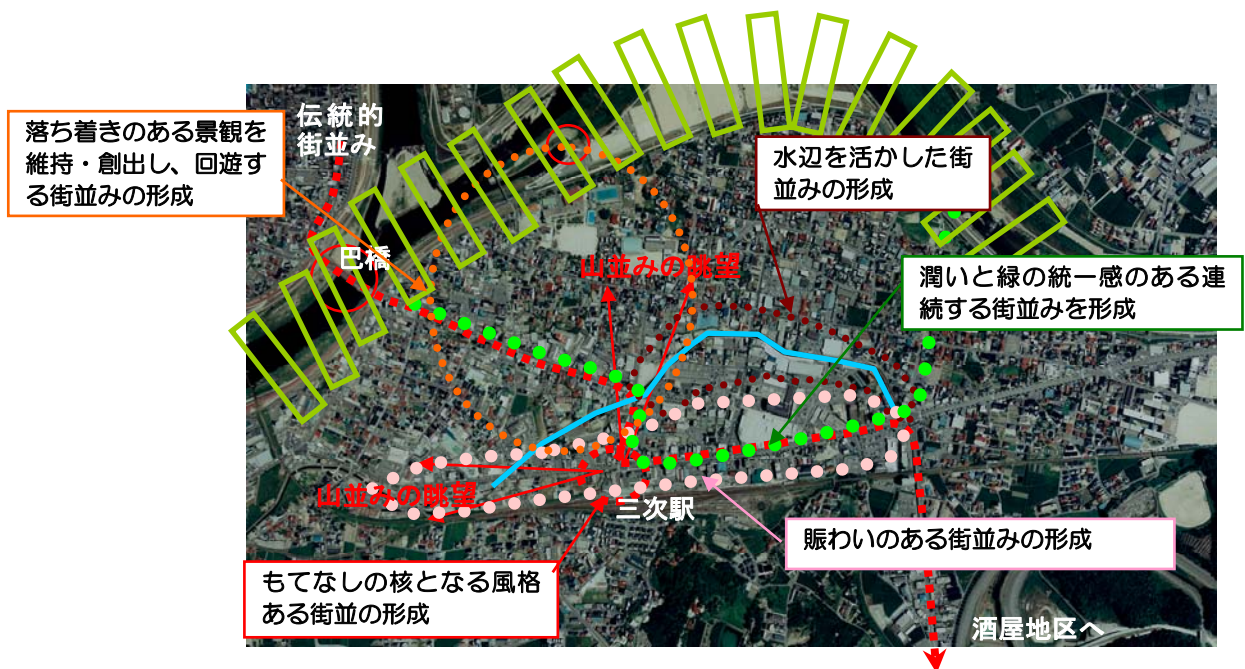
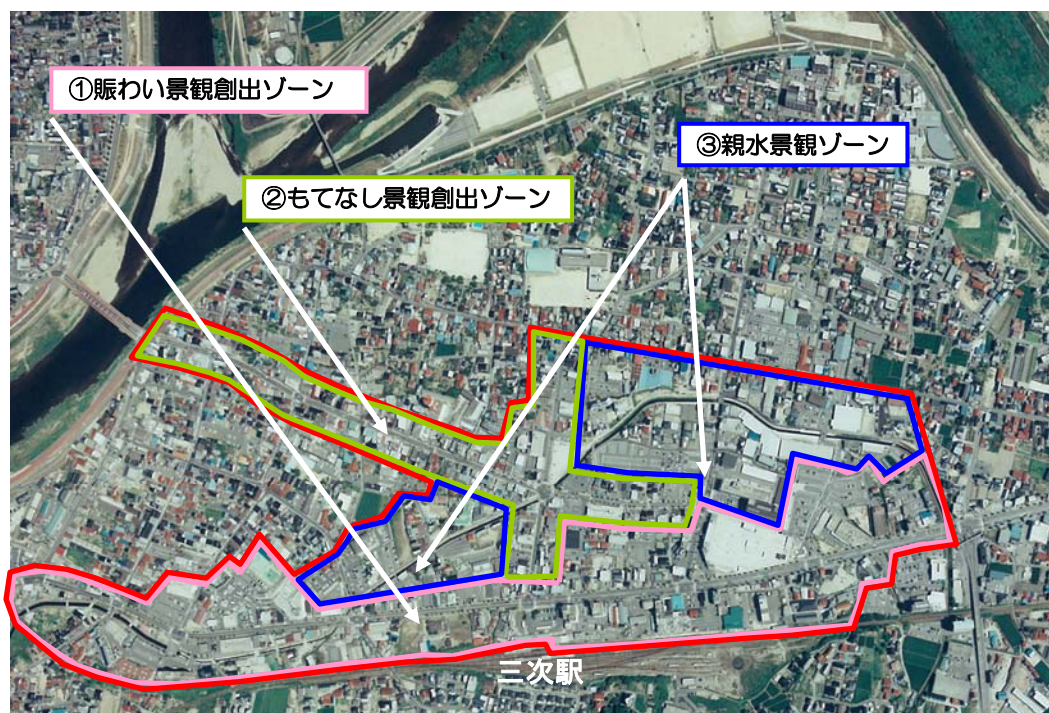


図1-2 課題図

④景観形成方針(別図 1-A 参照)



別図 1-A

1)賑わい景観創出ゾーンは、来訪者との交流や商店の賑わいを創出する街並みを形成します。

- 沿道側の建物などは、洗練された色彩などによる壁面を統一します。
- 玄関地区として、賑わいの創出と来訪者の円滑な誘導を図るため、屋外広告物は色彩・大きさなどを統一します。
- 人の滞留空間としてのオープンスペースを確保します。
- 街路樹・民地内に緑を確保し、周辺山並みとの連続する緑のネットワークを形成します。

2)もてなし景観創出ゾーンは、来訪者にとってあたたかみのある街並みを形成します。

- 沿道側の建物などは、落ち着いた色彩などによる壁面を統一します。
- 賑わいの創出と来訪者の円滑な誘導を図るため、屋外広告物は色彩・大きさなど統一します。
- 街路樹・民地内に緑を確保し、やすらぎのある街並みを形成します。

3)親水景観ゾーンは、北溝川の潤いをもたらす水辺と緑を活かす景観を創出します。

- 営みを感じる住宅地においては、落ち着きある景観に調和する色彩に配慮します。
- 建物の高さや配置の工夫により、北溝川沿いに連続したオープンな空間を確保します。
- 水辺や民地内に緑を確保し、潤いのある親水空間を形成します。